

「東日本大震災と道路」パネル展の状況について(山形)

■パネル展の概要

①開催目的

東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、地域の防災力の向上と被災地への思いを風化させないようにするためには、地域・世代を超えて今回の教訓を共有化することが必要と考えております。

道路の被災状況や障害物を取り除いて緊急車両が進行できるようにする道路の啓開・復旧の取り組み、道路が果たした様々な効果等を国民の皆様にお知らせするとともに、今後の課題などについて、ご意見を伺うことを目的にパネル展を開催するものです。

②開催月日:平成23年9月2日(金)～4日(日) 9時～18時

③開催場所:霞城セントラル 1階 アトリウム

④主催等:東北6県、仙台市、東北地方整備局
(後援)東日本高速道路(株)、地方紙8社

■実施内容

①パネル展示

巨大津波襲来や沿岸部の被災前後の状況、道路の啓開・復旧状況、道路の果たした役割・これからの道づくり等に関するパネルを49枚展示。

②ビデオ上映

「東日本大震災における津波状況」と「道路・橋の被災、啓開、復旧状況」の2部構成で繰り返し放映

③アンケート調査

■会場の様子

- ・来場者数:約3,800人が来場
- ・アンケート調査:約360件の回答

家族連れや若い世代の方々をはじめ、世代を問わず多くの方がパネルを見学していた。
また、真剣にパネルやビデオをご覧になる姿が多く、アンケート調査にも協力的であった。

■これまでの開催概要と今後の開催予定

宮城県:8月26日～8月28日 JR仙台駅 約44,000人が来場

岩手県:9月9日～9月11日 岩手県民情報交流センター

福島県:9月16日～9月18日 イオン福島

秋田県:9月23日～9月25日 JR秋田駅

青森県:9月30日～10月2日 サンロード青森



▲山形市長も足を運んだ(写真中央)



▲家族で熱心にパネルを見学



▲外国の方も興味深く見学



▲足を止めて真剣にパネルをご覧になる方が多い



▲若い方もアンケートに協力的